

西宮市都市景観形成基本計画 概要版

「西宮市都市景観形成基本計画」は、美しい都市景観を形成するために行う中長期的な施策の方向を示すマスタープランであり、市民・事業者・行政等が具体的に取り組みを行う際のガイドラインとなっています。

本市では、「西宮市都市景観形成基本計画」を平成元年に策定し、その後平成19年に全面改定を行っていますが、社会状況や環境の変化により、景観に係る新たな視点も必要になっています。

そのため、これまでの景観行政の実績や現状の課題等を踏まえつつ、より西宮市らしい良好な景観形成を推進するため、計画の改定を行いました。

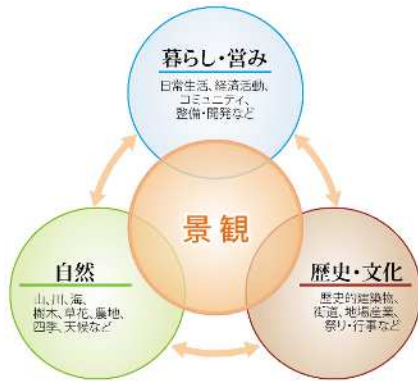
はじめに

本編 p.0-1~

ここでは、計画の目的、景観の基本的な考え方や本計画の位置付け等についてが書かれています。

景観とは

自然、人工物、暮らしや営み、祭り・行事などのハレの姿も含めて、目に見えるものはすべてが景観の構成要素です。



ふだん見ている
すべてのものが
景観なんだね



西宮市キャラクター
みやたん

西宮市都市景観形成基本計画の構成

第1部 景観形成の考え方

1-1 西宮市の景観
西宮市の景観についての現状把握

1-2 全体構想

— 西宮市全体の
景観形成の考え方 —

1-3 地域別構想

— 地域別の景観
形成の考え方 —

目指す景観像
潤いと風格のある 心地よい 文教住宅都市の景観

第2部 景観形成の進め方

2-1 景観形成の展開

施策・取り組みを支える各制度等を解説

2-2 基盤となる景観形成

2-3 重点的な景観形成

2-4 景観形成活動の推進

景観形成にあたって

●景観形成の基本姿勢

次の3つの基本姿勢のもとに、次世代へ引き継いでいくことが大切です。

- ・受け継がれてきた景観を「まもる」
- ・魅力ある景観を新たに「つくる」
- ・それらの景観に磨きをかけて「そだてる」

●景観形成の対象とする領域

道路や広場、河川や山並み等の市民に共有される「公的な空間」と、公的な空間から見える民間の建築物や前庭・塀・庭木・生垣、広告物等の私有地の部分「境界領域」の両方を景観形成の取組の対象とします。

境界領域の連なりは、まちなみに大きく影響するため、私有地ではあっても、公共性が高く、公的な空間とともに景観形成にはとても重要です。

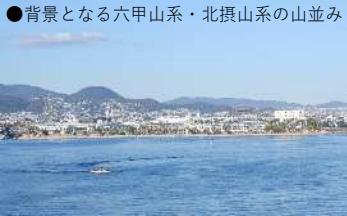


ここでは、西宮市の景観の成り立ちを整理したうえで、本市の景観特性～「にしのみや」らしい景観～と、課題と取り組みの方向性が書かれています。

西宮市の景観の成り立ち

基盤となる豊かな「自然」

●背景となる六甲山系・北摂山系の山並み



●ランドマークとなる甲山・丸山



●景観の軸となる河川・海辺



●快適な都市景観をつくりだす市街地内の多様な緑



受け継がれてきた「歴史・文化」

●緑豊かな住宅地・文教施設



●緑豊かな住宅地・文教施設



●重層的な歴史を感じられる旧集落、歴史的建造物、寺社等



●歴史的な風致を感じられる祭り・行事や産業



現在のわたしたちの「暮らし・営み」

●景観資源の保全・形成



●景観づくりの核となる駅前や街路、公園緑地等の整備



●社会経済活動を反映した商業景観・産業景観の形成



●市民等の日々の暮らしと景観形成活動



西宮市の景観特性 ～「にしのみや」らしい景観～

① 豊かな自然景観

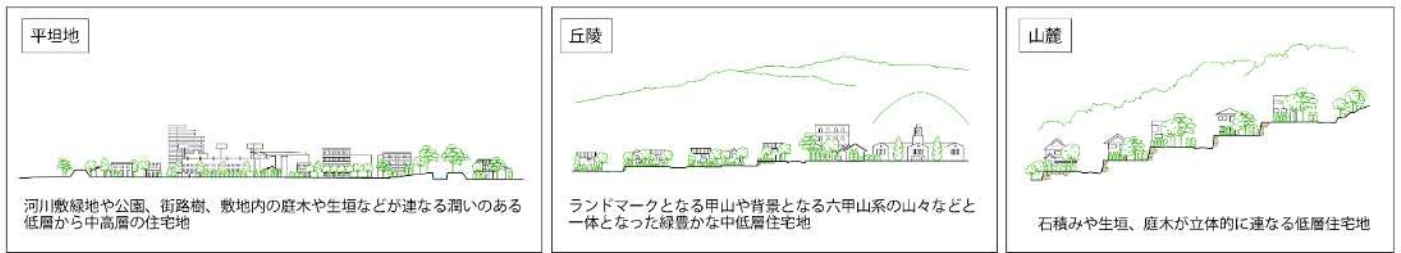
夙川や武庫川などの帯状に連なる緑の軸や、六甲山系等の山並みや甲山への眺めなどは、山から海に至る一体的な景観を創り出しています。また、それらの自然は、豊かな動植物を育み、四季の移ろいを感じることができるとともに、人々が集い、憩い、市民のみならず多くの人から愛される場となっています。

② 潤いと落ち着きある緑豊かな住宅景観

豊かな自然との調和がもたらす潤いや落ち着き、「阪神間モダニズム」に代表される高い文化性や都市の風格は、居住や教育に適した住みよい環境・景観を創り上げています。その魅力は、多くの人や企業、大学を呼び込んで豊かな文化的活動を生み出し、さらなる魅力的な景観を創り出し続けています。

③ 多様な地域景観

西宮市には歴史的な旧集落や近代以降の住宅開発地など、各地域の歴史・文化を反映したさまざまな住宅地の景観が広がっています。また、そのなかには生活拠点としてのにぎわいのある駅前等の商業景観や臨海部などの産業景観なども形成されており、基盤となる自然景観や住宅景観のうえに、多様な地域特性が散りばめられた景観が創り出されています。



西宮市の景観の課題と取り組みの方向性

① 「にしのみや」らしい住宅景観の形成

- ・新たに建てられる低層住宅や中高層住宅の中には、これまで積み重ねられてきた地域の特性が尊重されず、全国一律の量産的な形態・意匠・外構デザインが用いられるものが増え、「にしのみや」らしい住宅景観が減少しつつあります。

② 市民の誇りや愛着の拠り所となる景観資源の保全

- ・ランドマークである甲山等への眺望、多くの場所からの景観背景となる丘陵・山麓部の樹林、地域の歴史的建造物等の景観資源等が減少し、市民が地域の景観に誇りや愛着を感じにくくなっています。

③ 都市空間を構成するあらゆる要素間の調和を通じた秩序ある景観の形成

- ・商業地や幹線道路の沿道を中心に、派手な色彩の建築物や屋外広告物、過剰な照明等が用いられ、連続性を感じさせる形態や意匠に乏しく、雑然とした印象を与えるところも見られます。

④ 公共空間等の質の高い景観整備

- ・西宮市の景観の骨格となる道路や河川、また景観づくりの核となる駅前や市街地の緑景観の拠点となる公園・緑地等の公共施設や公共空間について、街路樹の整備や護岸整備、再開発等に伴う景観形成が図られているものの、一部では雑然とした景観や地域特性をいかしきれていない景観のまま残されているものも見られます。

⑤ 市民等による景観形成活動のさらなる展開

- ・現在も市民等による各種景観形成活動が展開されていますが、それらは一部の市民等に留まっています。景観形成について多くの方々に興味や関心を持っていただく必要があります。

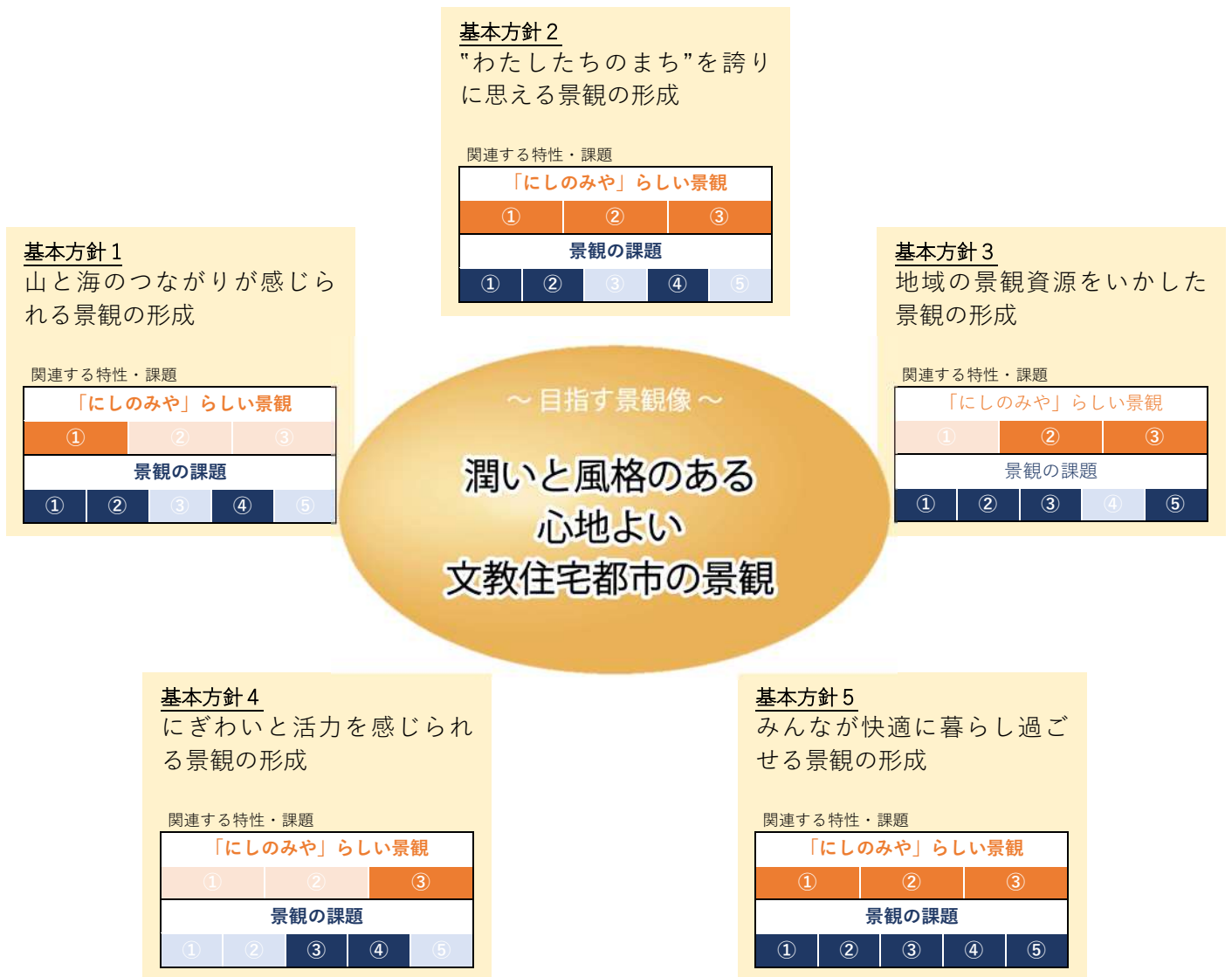
ここでは、西宮市が目指す景観像と、その景観像を実現するための基本方針及び景観構造についてが書かれています。

目指す景観像、景観形成の基本方針

西宮市の景観の特性をいかし、課題を解決するために、西宮市が目指す景観像を

「潤いと風格のある心地よい文教住宅都市の景観」

と設定し、景観像を具現化するため、次の5つの基本方針を設定します。



上の図は、基本方針ごとに、p.2に記載の「景観特性」とp.3に記載の「景観の課題」のいずれに関連するかを示しています。

【例】基本方針1：山と海のつながりが感じられる景観の形成

景観特性については「①豊かな自然景観」、景観の課題については「①「にしのみや」らしい住宅景観の形成」、「②市民の誇りや愛着の拠り所となる景観資源の保全」、「④公共空間等の質の高い景観整備」に関連します。

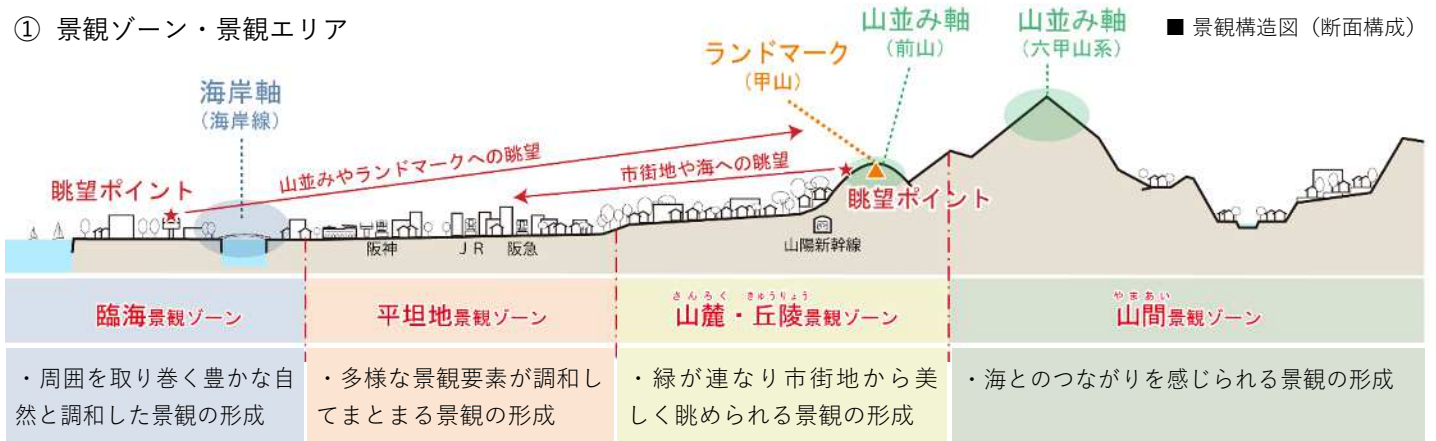
関連する特性・課題

「にしのみや」らしい景観				
①	②	③		
景観の課題				
①	②	③	④	⑤

景観構造ごとの景観形成の考え方

目指す景観像を実現するために4つの構成要素「①景観ゾーン・景観エリア」、「②景観軸」、「③景観核・景観拠点」、「④眺望ポイント」を設定し、構成要素ごとに、景観形成にあたっての基本的な方向性を示します。

① 景観ゾーン・景観エリア



自然景観エリア

豊かな自然要素を守りいかした自然景観の形成



集落景観エリア

歴史を感じる穏やかで開放的な集落景観の形成



低層住宅景観エリア

うるおいと落ち着きある住宅景観の形成



中低層住宅景観エリア

うるおいと多様な暮らしが調和する住宅景観の形成



都市型住宅景観エリア

明るく快適な市街地住宅景観の形成



商業景観エリア

地域の顔として賑わいと品格を感じる商業景観の形成



産業・住宅景観エリア

活力や親しみを感じる産業・住宅景観の形成



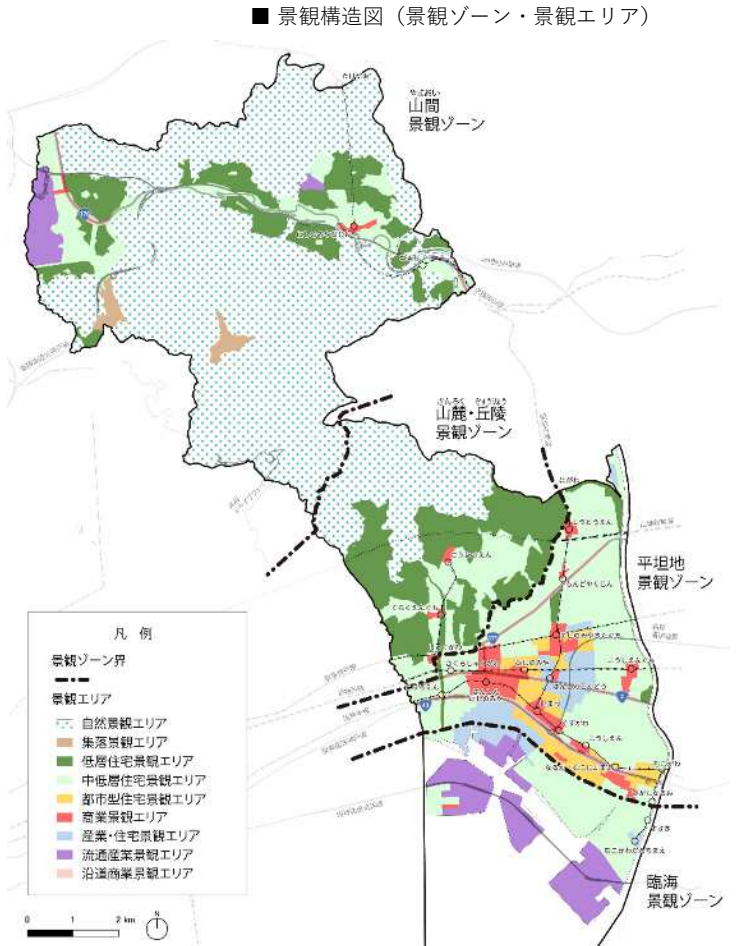
流通産業景観エリア

自然と連なる明るく開放的な流通産業景観の形成



沿道商業景観エリア

賑わいの中にも、秩序を感じることができる快適な沿道景観の形成



② 景観軸



河川軸

ゆとりと潤いを感じられる水と緑の景観ネットワークの形成



道路軸

地域のつながりを感じられる道路景観の形成



山並み軸

広域的な緑のつながりを感じられる山並み景観の形成



海岸軸

ダイナミックに連なる水と緑の景観の形成

④ 眺望ポイント



市内外に誇れる西宮の景観イメージの創出

③ 景観核・景観拠点



ランドマーク

西宮の豊かな自然を象徴的に望むことができる景観の形成



モデルとなる住宅地

緑、石、水などの豊かな自然がおりなす住宅景観の形成



地域の中心地

地域の顔となる個性と風格を感じられる景観の形成



緑豊かな文教地

緑豊かで落ち着いたある文教景観の形成

■ 景観構造図 (景観軸、景観核・景観拠点、眺望ポイント)



ここでは、各地域の個性をいかした景観形成を進めるため、また、市民が身近に景観を捉えられるよう、地域別の景観形成の考え方が書かれています。事業者にとっても、事業計画地の景観特性などを調べやすいよう整理しています。

地域分けは、第五次西宮市総合計画参考資料地域別アウトラインを参考にしています。

地域ごとに「景観の成り立ち」、「景観の特徴」、「景観の課題」、「景観形成の考え方」、「景観構造^{※1}」、「景観資源^{※2}」を整理しています。

※1「景観構造」では、1-2で示した市全体の景観構造に地域レベルの景観軸、景観核・景観拠点、眺望ポイントを加えています。

※2「景観資源」は、地域レベルの景観づくりの考え方を共有し、地域固有の景観に対する誇りや愛着の形成を図るとともに、景観まちづくりの取り組みを展開するためのきっかけとしていくために設定しています。



1. 本庁北西地域



◆ 景観形成の方向性（テーマ）

- 豊かな自然の緑をまもり、そだてます
- 丘陵・山麓部や夙川周辺の緑をいかした住宅景観をまもり、つくり、そだてます
- 地域の特徴を感じられる駅前景観をつくり、そだてます



越木岩神社の境内林と参道



夙川公民館と片鈴池

凡例	市境界	山並み軸	自然景観エリア	商業業務景観エリア	地域の中心地
	景観ゾーン界	海岸軸	集落景観エリア	産業住宅景観エリア	緑豊かな文教地
	河川軸	ランドマーク	低層住宅景観エリア	流通産業景観エリア	モデルとなる住宅地
	(うち地域レベル)	眺望ポイント	中低層住宅景観エリア	沿道商業景観エリア	
	道路軸	(うち地域レベル)	都市型住宅景観エリア		
	(うち地域レベル)				

2. 本庁北東地域

■ 景観構造

◆ 景観形成の方向性（テーマ）

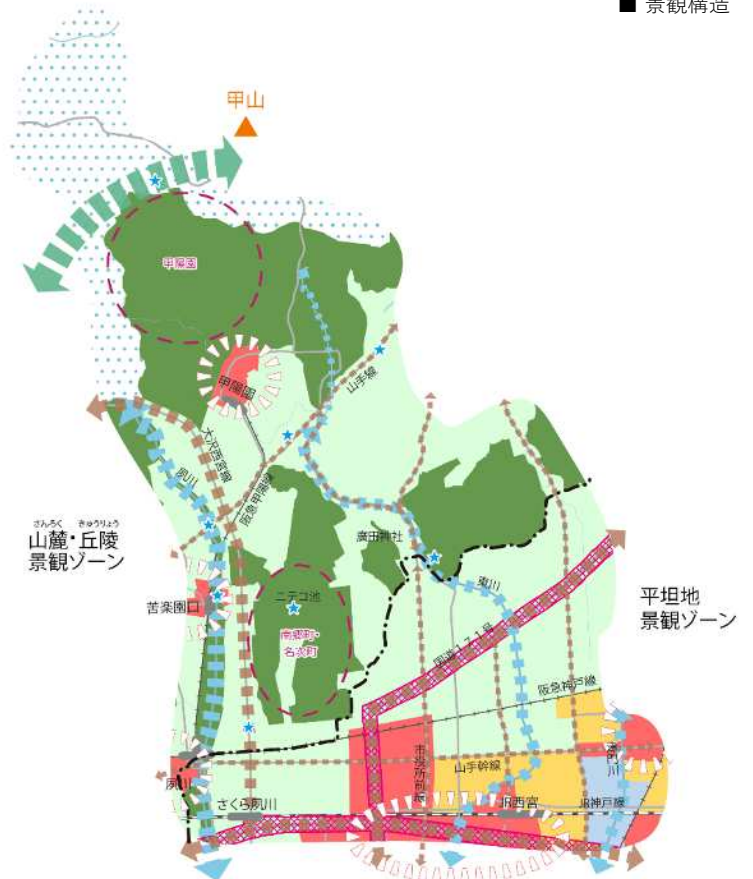
- 甲山への眺めをまもり、そだてます
- 歴史ある住宅地のおもむきをまもり、そだてます
- 自然の水辺と緑をいかした景観をまもり、つくり、そだてます



ニテコ池から甲山への眺め



夙川のサクラ



3. 本庁南西地域

■ 景観構造

◆ 景観形成の方向性（テーマ）

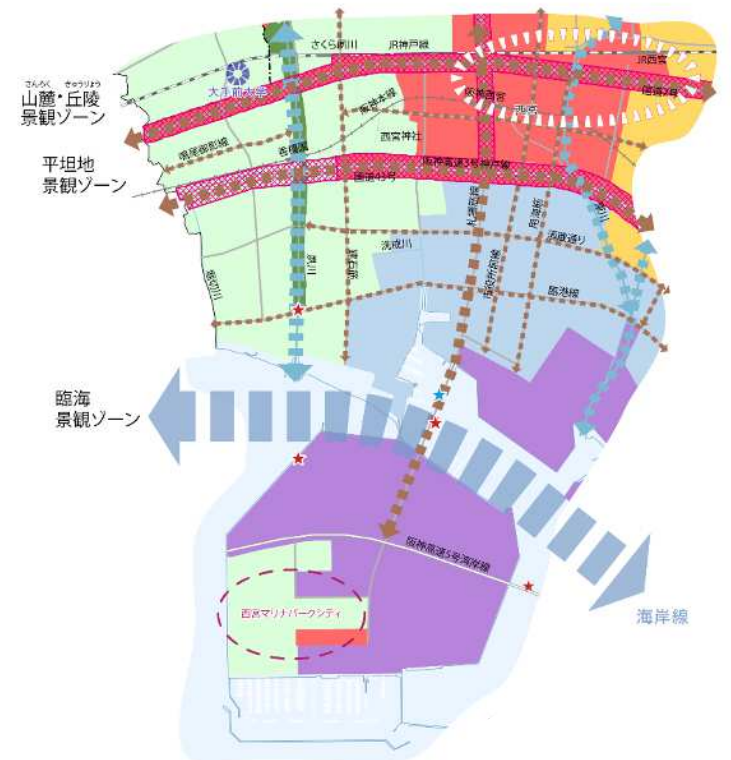
- 都市核にふさわしい賑わいと魅力をつくります
- 夙川の緑や海浜の開放感をいかした住宅地をまもり、つくり、そだてます
- 地域の歴史を伝えるまちなみをまもり、つくり、そだてます



西宮マリナパークシティのサクラ並木



西宮神社の境内林



凡例



4. 本庁南東地域

■ 景観構造

◆ 景観形成の方向性（テーマ）

- 自然の水辺と緑をまもり、そだてます
- 酒づくりの町の歴史を感じられる景観をまもり、つくり、そだてます
- 地域の歴史・文化・自然資源をまもり、そだてます



今津灯台



六角堂（今津小学校）
【都市景観形成建築物】



5. 鳴尾地域

■ 景観構造

◆ 景観形成の方向性（テーマ）

- 緑豊かで落ち着いたある住宅地をまもり、つくり、そだてます
- 川や海浜の広がりある風景をまもり、そだてます
- 甲子園球場や大学による活気と魅力あるまちなみをつくりまします



枝川町のメタセコイヤ並木



甲子園ヨットハーバー



凡例

- | | | | |
|-----|-----------|---|-----------|
| ○ | 市境界 | ↔ | 山並み軸 |
| --- | 景観ゾーン界 | ↔ | 海岸軸 |
| ←→ | 河川軸 | ▲ | ランドマーク |
| ←→ | (うち地域レベル) | ★ | 眺望ポイント |
| ←→ | 道路軸 | ★ | (うち地域レベル) |
| ←→ | (うち地域レベル) | | |

- | | | | | | |
|---|------------|---|-----------|---|-----------|
| □ | 自然景観エリア | ■ | 商業業務景観エリア | ○ | 地域の中心地 |
| ■ | 集落景観エリア | ■ | 産業住宅景観エリア | ○ | 緑豊かな文教地 |
| ■ | 低層住宅景観エリア | ■ | 流通産業景観エリア | ○ | モデルとなる住宅地 |
| ■ | 中低層住宅景観エリア | ■ | 沿道商業景観エリア | | |
| ■ | 都市型住宅景観エリア | | | | |

6. 瓦木地域

■ 景観構造

◆ 景観形成の方向性（テーマ）

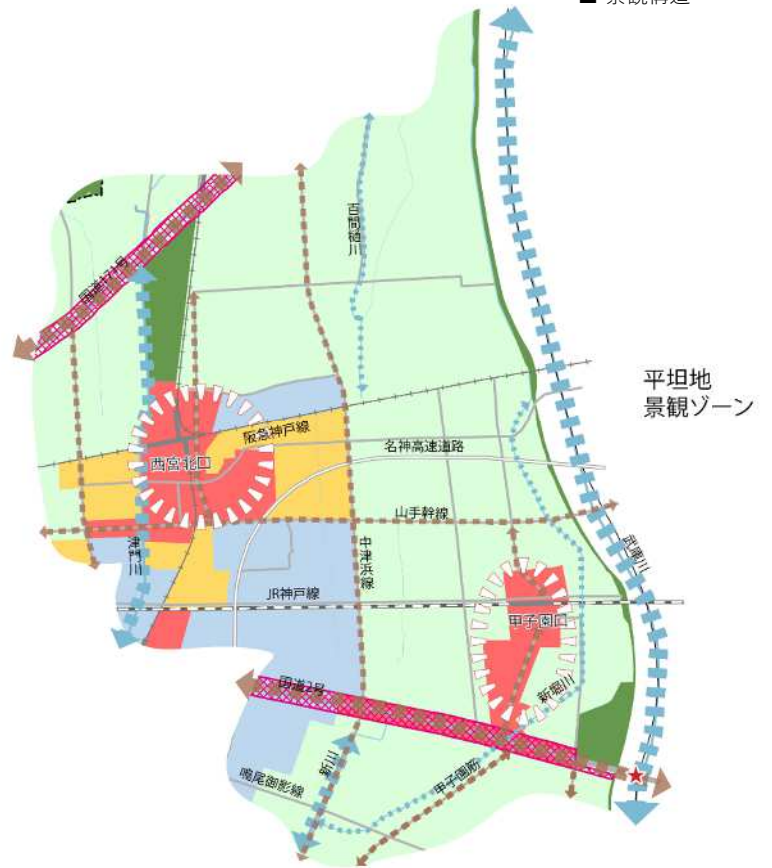
- 都市核にふさわしい賑わいと魅力をつくります
- 落ち着いたある緑豊かな住宅地をまもり、つくり、そだてます
- 農地や川の広がりある風景をまもり、そだてます



阪急西宮北口駅南側



武庫大橋



7. 甲東地域

■ 景観構造

◆ 景観形成の方向性（テーマ）

- 川や農地の広がりある風景と、甲山の眺望をまもります
- 落ち着いたある緑豊かな住宅地をまもり、つくり、そだてます
- 学園街の雰囲気をいかしたまちなみをつくります



甲山



武庫川沿いのマツ並木



凡例

- | | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|
| 市境界 | 山並み軸 | 自然景観エリア | 商業業務景観エリア | 地域の中心地 |
| 景観ゾーン界 | 海岸軸 | 集落景観エリア | 産業住宅景観エリア | 緑豊かな文教地 |
| 河川軸 | ランドマーク | 低層住宅景観エリア | 流通産業景観エリア | モデルとなる住宅地 |
| (うち地域レベル) | 眺望ポイント | 中低層住宅景観エリア | 沿道商業景観エリア | |
| 道路軸 | (うち地域レベル) | 都市型住宅景観エリア | | |
| (うち地域レベル) | | | | |

8. 塩瀬地域

■ 景観構造

◆ 景観形成の方向性（テーマ）

- 自然の水辺と緑、田園風景をまもり、そだてます
- 山の斜面緑地をいかし、これに調和したまちなみをつくれます
- 旧街道沿いを中心とする歴史的背景をまもり、つたえます



東山台のまちなみ



木之元の旧集落景観



9. 山口地域

■ 景観構造

◆ 景観形成の方向性（テーマ）

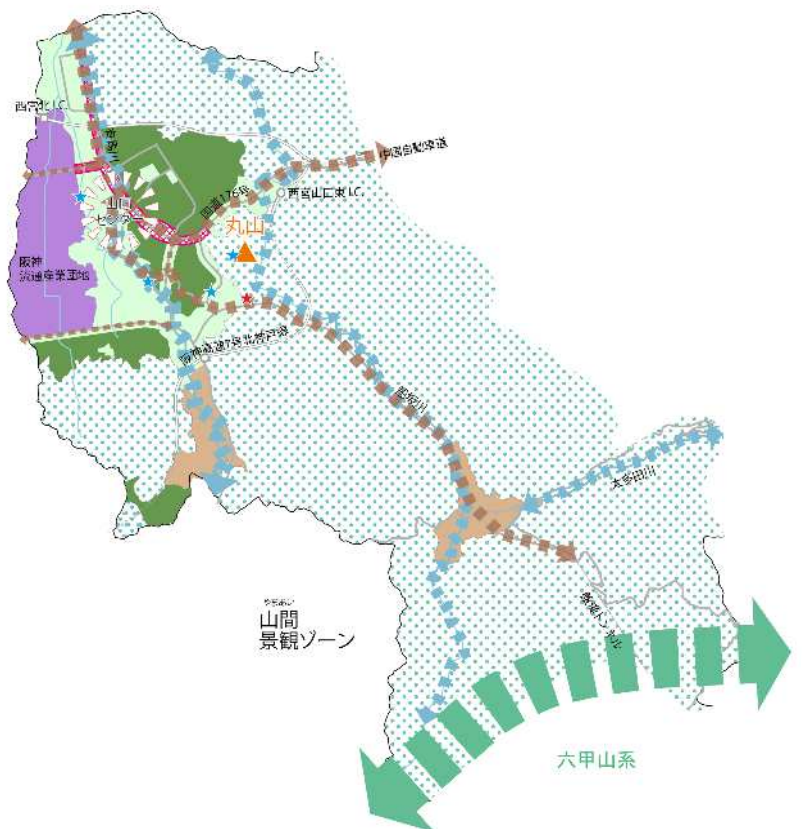
- 自然の水辺と緑をまもり、そだてます
- 山並みと田園風景に調和したまちなみをつくれます
- 旧街道沿いを中心とする歴史的背景をまもり、つたえます



丸山



船坂地区の旧集落景観



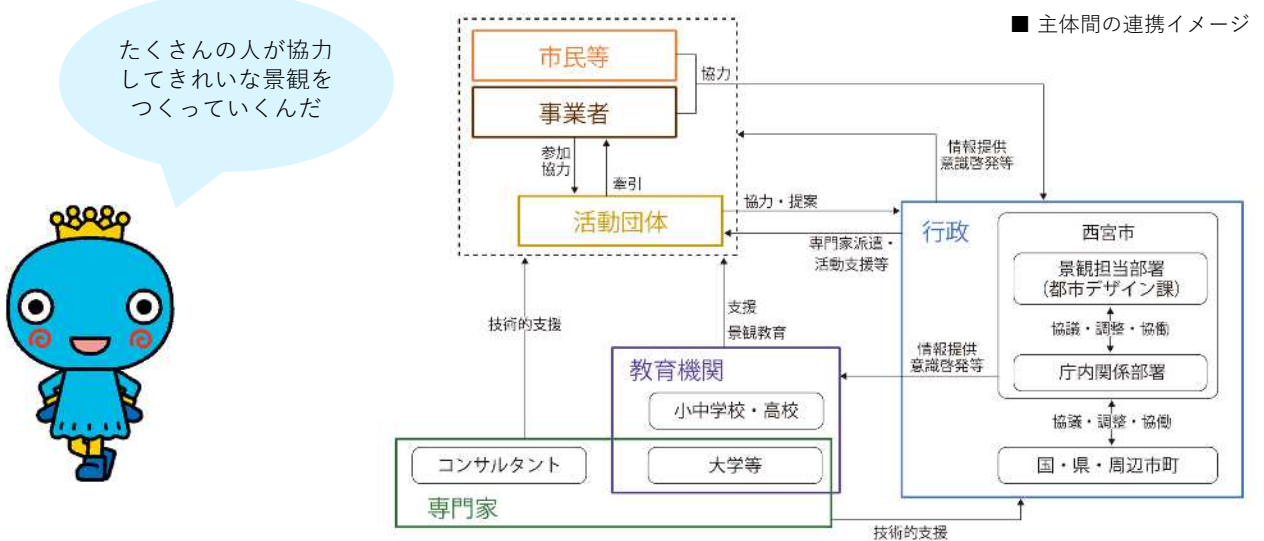
凡例

- | | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|
| 市境界 | 山並み軸 | 自然景観エリア | 商業業務景観エリア | 地域の中心地 |
| 景観ゾーン界 | 海岸軸 | 集落景観エリア | 産業住宅景観エリア | 緑豊かな文教地 |
| 河川軸 | ランドマーク | 低層住宅景観エリア | 流通産業景観エリア | モデルとなる住宅地 |
| (うち地域レベル) | 眺望ポイント | 中低層住宅景観エリア | 沿道商業景観エリア | |
| 道路軸 | (うち地域レベル) | 都市型住宅景観エリア | | |
| (うち地域レベル) | | | | |

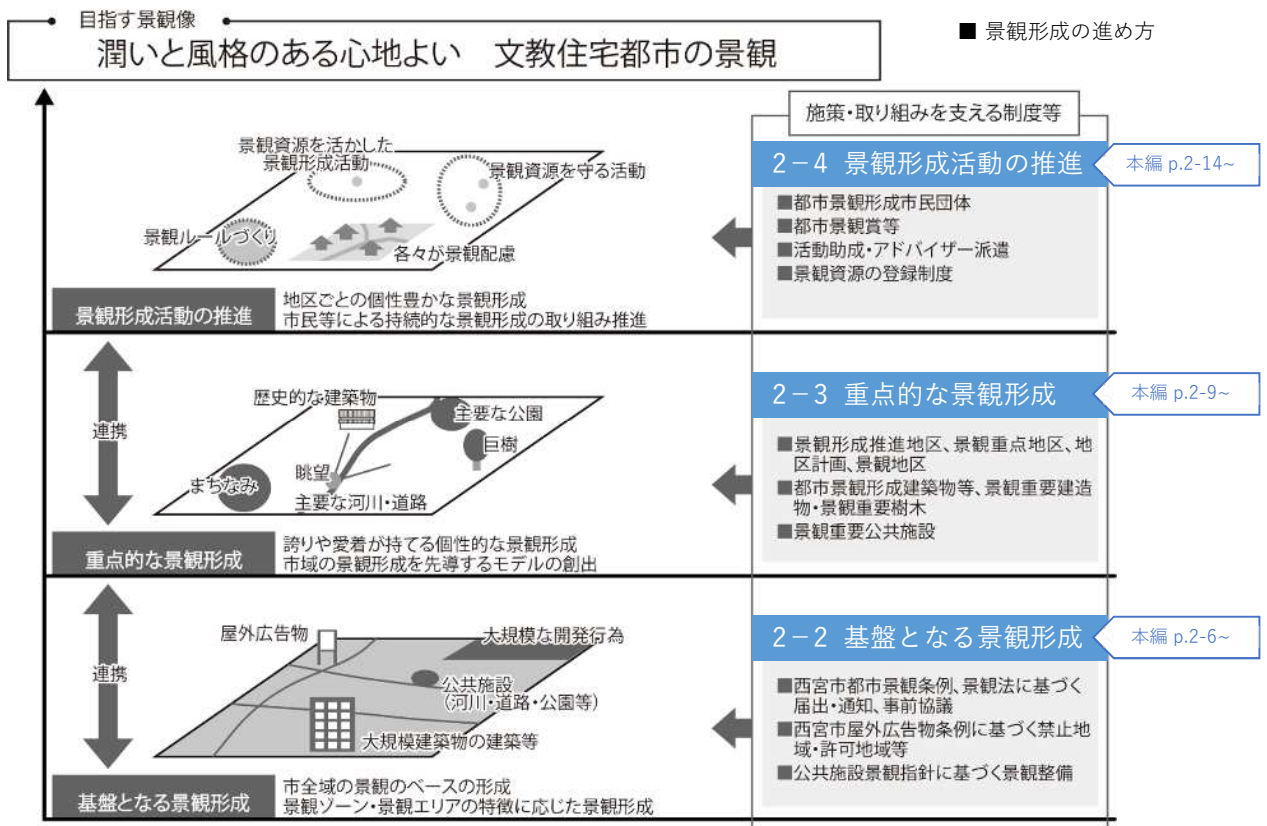
ここでは、景観形成にあたっての、各主体の役割と景観形成の進め方について施策・取り組みを支える制度等の解説が書かれています。

主体ごとの役割と連携

景観形成に関係する各主体がそれぞれの役割を認識し、景観形成の取組を実践していきます。



景観形成の展開方法



西宮市都市景観形成基本計画 概要版 令和4年(2022年)4月発行

【編集・発行】 西宮市都市計画部 都市デザイン課
〒662-8567 兵庫県西宮市六湛寺町 10-3 TEL : (0798) 35-3526